

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響



ジャン・シベリウス生誕150年。
世界屈指のシベリウス指揮者が登場。

指揮 **オスモ・ヴァンスカ**
Conductor: Osmo Vänskä

大自然が生んだ神秘の宇宙、奇跡の交響曲。

読売日本交響楽団 第586回 サントリーホール名曲シリーズ

2015 **11/27** (金) 19時開演 サントリーホール
S¥7,200 A¥6,100 B¥5,100 C **SOLD OUT**
The 586th Suntory Hall Popular Series / Fri. 27th Nov. 2015 19:00 / Suntory Hall

読売日本交響楽団 第181回 東京芸術劇場マチネーシリーズ

2015 **11/28** (土) 14時開演 東京芸術劇場コンサートホール
S¥7,200 A¥5,100 B¥4,100 C **SOLD OUT** ジュニアシート(大人同伴の小中高生) ¥1,500
The 181st Tokyo Metropolitan Theatre Matinée Series
Sat. 28th Nov. 2015 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

ヴァイオリン
エリナ・ヴァハラ
Violin: Elina Vähälä



シベリウス:
「カレリア」組曲 作品11
Sibelius: Karelia Suite, op. 11

ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47
Sibelius: Violin Concerto in D minor, op. 47

交響曲 第1番 ホ短調 作品39
Sibelius: Symphony No. 1 in E minor, op. 39

読売日本交響楽団 第553回 定期演奏会

2015 **12/4** (金) 19時開演 サントリーホール
S¥7,200 A¥6,100 B¥5,100 C ¥3,600
The 553rd Subscription Concert / Fri. 4th Dec. 2015 19:00 / Suntory Hall

シベリウス:
交響曲 第5番 変ホ長調 作品82
Sibelius: Symphony No. 5 in E flat major, op. 82

交響曲 第6番 二短調 作品104
Sibelius: Symphony No. 6 in D minor, op. 104

交響曲 第7番 ハ長調 作品105
Sibelius: Symphony No. 7 in C major, op. 105

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)
事業提携：東京芸術劇場[11/28] 協力：アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)[12/4]

読響チケットセンター 0570-00-4390 <http://yomikyo.or.jp>
(10時-18時・年中無休)



北欧の空気を思わせる、清新な響き。

フィンランドが誇る世界的指揮者、オスモ・ヴァンスカが世界的に注目されたきっかけは、母国のラハティ交響楽団でシベリウスのオーケストラ作品を次々に取り上げ、かんこうしはい眼光紙背に徹した解釈と極めて繊細な演奏で聴き手を驚かせたことだった。

かつて、ヘルシンキ・フィルのクラリネット奏者だったヴァンスカは、シベリウスについて「フィンランドの指揮者に世界への扉を開けてくれた」と語った。祖国が生んだ大作曲家への尊敬の念はとりわけ強い。

読響とは2002年から共演を重ね、楽団員の信頼も厚い。ただし、シベリウスの交響曲全7曲中、これまでに読響で振ったのは第2、4、5番のみ。「指揮しすぎないように注意している。作品への情熱を失うのが怖い」と複雑な胸中を吐露したこともある。惰性に陥るのを戒め、常に新鮮な気持ちで作品と向き合う姿勢は真摯そのものだ。

ヴァンスカの棒から生まれるシベリウスの魅力は、何といっても、北欧の涼やかな空気を思わせる透明で清新な響きにある。交響曲第6、7番には作曲家後半生の晦澁さが映し出されるが、そこには故郷の無為の自然が描き込まれるだろう。一方、人生の絶頂期に書かれたヴァイオリン協奏曲では、ソリストとして迎えるフィンランドの実力派、エリナ・ヴァハラが美しい彩りを添える。

交響曲第1番は冒頭に有名なクラリネットのソロがある。冷涼な風土から立ち上る神秘的な音色をどのように聴かせるか、この楽器に親しんだ名匠の腕の見せ所だ。読響ではいずれも初披露となるこれらの名曲は、日本におけるシベリウス演奏史の新たな1ページになることだろう。



©Kaapo Kamu

オスモ・ヴァンスカ(指揮)

あふれる情熱で、音楽に命を吹き込む名匠。シベリウスの演奏で数々の伝説的な名演を世界各地で残しており、「ヴァンスカの綿密に研究されたシベリウス演奏は、必聴だ」(英フィナンシャル・タイムズ)などと絶賛されている。

1953年フィンランド生まれ。シベリウス・アカデミーでヨルマ・バナラに師事。1982年プザンソン国際コンクール優勝。1988年にラハティ響音楽監督に就任、以来タピオラ・シンフォニエッタ音楽監督、BBCスコティッシュ響首席指揮者などを歴任した。現在はミネソタ管音楽監督、アイスランド響首席客演指揮者、ラハティ響桂冠指揮者を兼任している。これまでに、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロンドン響、シカゴ響など多くの一流オーケストラに客演。録音では、ラハティ響とシベリウスの交響曲全集を残しており、シベリウス演奏において不動の評価を確立している。読響とは2002年に初登場して以来、共演を重ねている。



©Laura Riihela

エリナ・ヴァハラ(ヴァイオリン)

確かなテクニックと、感受性にあふれた音楽作りで称賛される北欧の名花。"シベリウス・イヤー"の今シーズン、フィンランド放送響の定期公演でシベリウスのヴァイオリン協奏曲のソリストを務める。

12歳でラハティ響との共演で鮮烈なデビューを飾り、ヴァンスカから「ヤング・マスター・ソロイスト」に選出される。以降、セゲルスダム、スラツキン、サラステ、フルシャら世界的名匠の指揮で、ミネソタ管、フィンランド放送響、ボン・ベートーヴェン管などの名門楽団と共演。2011年「ラハティ国際シベリウス・フェスティバル」では、ラハティ響と共演し、世界各地から集まったシベリウス・ファンを魅了した。室内楽では、バシュメット、ギトリス、イッサリスらと共演。BISレーベルからCDを2枚リリースし、高い評価を得ている。

指揮=オスモ・ヴァンスカ ヴァイオリン=エリナ・ヴァハラ
シベリウス:「カレリア」組曲/ヴァイオリン協奏曲/交響曲 第1番

読響日本交響楽団 第586回 サントリーホール名曲シリーズ

2015年 11月27日(金) 19時開演 サントリーホール
S ¥7,200 A ¥6,100 B ¥5,100 C **SOLD OUT**

読響日本交響楽団 第181回 東京芸術劇場マチネーシリーズ

2015年 11月28日(土) 14時開演 東京芸術劇場コンサートホール
S ¥7,200 A ¥5,100 B ¥4,100 C **SOLD OUT** ジュニアシート(大人同伴の小中高生) ¥1,500

指揮=オスモ・ヴァンスカ
シベリウス:交響曲 第5番/交響曲 第6番/交響曲 第7番

読響日本交響楽団 第553回 定期演奏会

2015年 12月4日(金) 19時開演 サントリーホール
S ¥7,200 A ¥6,100 B ¥5,100 C ¥3,600

【観覧料】 東京芸術劇場には一時託児施設があります。だっこルーム 03-3981-7003(11/28)

【学生券】 学生の方は、開演15分前から残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【都合により】 曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。

【未就学児のご入場は、固くお断りいたします。】